



市政だより

GERO
CITY
INFORMATION

2006

7

July
第29号
Vol:29

けろ



みんなでつくった植樹祭

5月21日、絶好の晴天の下で開かれた「第57回全国植樹祭」では、約1,100人の子どもたちがスタッフとして参加しました。「子どもが主役」、「森のめぐみの活用」をキーワードに、森林づくりの大切さを全国へ発信。次世代を担うこどもたちが、下呂市で開かれた一大行事を盛り上げ、成功に導いてくれました。



飛騨美濃合併130周年

CONTENTS

- 第57回全国植樹祭..... 2 ~ 5
- 下呂市みどりの祭り..... 6 ~ 9
- 下呂市ニュース..... 10 ~ 13
- ほっとピックス..... 14 ~ 15
- 図書だより・こちら119番... 16
- この人・五の池小屋だより... 17
- 暮らしの情報あれこれ..... 18 ~ 21
- こんにちは市長です..... 22
- 人の動き..... 23
- わたしたちのまちづくり..... 24

下呂市から全国へ 森のめぐみへの感謝を発信

第57回全国植樹祭



5月21日、下呂市萩原町四美の南飛騨健康増進センターをメイン会場に、天皇、皇后両陛下のご臨席の下、「第57回全国植樹祭」(主催・社団法人国土緑化推進機構、岐阜県)が開催されました。

「ありがとう 未来へつなげ 森のめぐみ」を大会テーマに、県の内外から約8500人が参加。地元尾崎小学校の児童をはじめ、約1100人の児童・生徒が、司会や音楽隊などの式典スタッフとして活躍し、まさに「子どもが主役」の植樹祭となりました。

式典前のプロローグでは、市内の小学校児童が色とりどりの衣装を身にまとい、元気な踊りを披露。高山西高校の打保早紀さんによるバイオリンの調べの中、天皇、皇后両陛下が会場に到着され、式典がスタートしました。



お手植えをされる両陛下。
お手植えの介添えは尾崎小学校の児童が、お手播きの介添えは萩原北中学校の生徒が務めました。

数字で見る 全国植樹祭

1,120点

第57回全国植樹祭の大会テーマ(キャッチフレーズ)募集への応募点数。全国からの応募の中、地元下呂市金山町岩瀬の、河尻幸枝さん(金山町)の作品、「ありがとう 未来へつなげ 森のめぐみ」が選ばれました。

1,400個

植樹祭会場や付近の歩道などに設置されたプランターボックスの数。間伐材を利用したもので、うち850個は2月に市内の小学校5・6年生(当時)が製作しました。

23種

一般参加者の記念植樹で植えられた樹種。イチイ、イチヨウ、ウツギ、エゴノキ、オニグルミ、カツラ、キハダ、クリ、コブシ、トチノキ、ネムノキ、ヒノキ、ホオノキ、マユミ、ミズキ、ムラサキシキブ、ヤマザクラ、ヤマハギ、ヤマブキ、ヤマモミジ、淡墨桜、荘川桜、臥龍桜。

49年ぶり

岐阜県内での開催は、昭和32年4月7日に谷汲村(現在の揖斐川町)で開催されて以来2度目。

150人、80団体

植樹祭式典での表彰者の数。平成17年度の緑化功労者の表彰などが行われました。



式典では、天皇陛下が「全国植樹祭を契機として、さらに多くの人々が、森をつくり、維持していくために協力し合っていくことを願います」などとお言葉を述べました。各種表彰が行われた後には、天皇陛下がホオノキ、ヒノキなど、皇后さまがトチノキ、イチヨウなど、それぞれ5種類の苗木や種子をお手植え、お手播(ま)き。参加者代表や公募によって選ばれた県内の100人の親子による植樹も行われました。

式典中は、地元の中高生などで編成された音楽隊による、「岐阜県民の歌」の演奏、合唱が四美の森に響き、式典後のエピソードでは、参加者全員による間伐材で作製されたカスターネットを合奏。参加者全員で森のめぐみへの感謝の気持ちを表現しました。





たくさん子どもたちが活躍する植樹祭の式典を、お野立て所から笑顔で見守られる両陛下。



式典の前に行われたプロローグアトラクション。萩原小の2年生児童85人が、風・水・命の精にふんし、森の誕生を踊りで表現しました。



女優の竹下景子さん（写真左端）と一緒に司会進行を務めたのは、萩原北中と南中の生徒4人。堂々とした素晴らしい司会ぶりでした。



ボランティアでスタッフに参加した奥田錦吾さん（萩原町萩原）は、スタッフ最高齢の88歳。以前森林関係の仕事に携わったこともあり、「植樹祭のお役に立ちたかった。生涯の思い出になりました」とにっこり。



一般参加者の記念植樹会場で、スタッフを務めた（左から）萩原南中1年生の今井裕加里さん、今井綾香さん、岡崎めぐみさん。植え方などを参加者に指導したり、植えられた木の周りの土を整えたりしました。「参加された方は大人の方が多く、少し緊張しました」と岡崎さん。

両陛下を お見送り



植樹祭の式典終了後、両陛下は昼食のため星雲会館へ。山田市長が出迎えました。



飛騨萩原駅周辺へ詰め掛けた市民に、笑顔で手を振られる両陛下。午後3時前には、両陛下が飛騨萩原駅から列車で岐阜市へ向かわれました。



メイン会場東側のサービス広場では、飛騨白龍子ども太鼓（写真）をはじめ、鳳凰座村芝居や今井八幡神社（萩原町奥田洞）の鶏闘楽などが披露されました。



式典会場近くの森林では、一般参加者らが、イチイやコブシなど約5,000本の苗木を植樹。



「未来への約束」と題した、県内の親子100人による植樹。森を守り育てようと誓いました。



合唱を披露したのは、萩原南中の2・3年生156人。植樹祭のプロローグからエピローグまで、四美の森に元気な声を響かせました。



モリゾー、キッコロも
応援に駆けつけました

全国植樹祭の感動をもう一度と、5月28日、天皇皇后両陛下をお迎えした萩原町四美の南飛騨健康増進センターの式典会場で、「第57回下呂市みどりの祭り」が開かれました。

市民ら約3000人が来場。全国植樹祭のテーマ曲となった岐阜県民の歌を市民吹奏楽団が演奏、南ひだ少年少女合唱団・混声合唱団フィールが合唱した式典のほか、市の木モミジ、市の花岩ツツジ、ホオノキなどを植える植樹行事や市内の子どもらによるダンス、太鼓などのアトラクションの披露が行われました。

市民の皆さんに
森の恵みの

すばらしさ、

大切さを伝えたい

式典会場付近の四美の森を

こうじゅ もり
『皇樹の杜』と命名



空から見た「皇樹の杜」周辺【提供:岐阜新聞】



式典会場で自治会代表者による記念植樹



全国植樹祭のビデオで、両陛下の映像や子どもたちの活躍ぶりを見る来場者



「ファンキーグロッパ」が元気いっぱいのダンスを披露



大会宣言

中野憲太郎市議会議長が、「私たち下呂市民は先人が築いた森の恵みに感謝をすることにも、この森を『皇樹の杜』と命名し、未来の子どもたちのために、健全な森づくりを目指します」と大会宣言しました。

あの感動をもう一度

第57回下呂市みどりの祭り



「全国植樹祭の感動を、森林の大切さをかみしめて」とあいさつした山田市長

式典で山田市長は、「全国植樹祭は、岐阜県はじめ関係機関の並々ならぬ尽力と市民の皆さんの協力のおかげで大成功に終えることができました。この一大行事は、新生下呂市にとって一体感をつくり、市民の誇りと自信につながりました」とあいさつ。会場周辺の整備などで尽力いただいた地元四美区（熊崎栄一区长）に市長から感謝状が贈られたほか、木製モニュメントの表彰、さきの全国植樹祭で緑化功労者表彰などを受けた市内の8個人・団体の紹介が行われました。

表彰者はつぎのとおり（敬称略）

- **緑化功労者**
 - 岐阜県緑化推進委員会会長表彰 中安良一（乗政）
 - 下呂建設業協会
- **岐阜県民有林造林コンクール**
 - 知事賞 進藤紀久男（久野川）



植樹祭誘致から当日まで、協力いただいた四美区に、市長から感謝状の贈呈

- **森の名手・名人**
 - 丸山清和（萩原町山之口）
 - **林材振興大会知事表彰**
 - 川口 武（馬瀬数河）
 - **「山村・山」絵がみコンクール**
 - 子どもの部・優秀賞 森 衿乃（金山小6年）
 - **「緑の募金」感謝状**
 - 南ひだ森林組合
 - 下呂建設業協会
 - **優良森林愛護少年団**
 - 尾崎小学校みどりの少年団



植樹祭を盛り上げた木製モニュメント入賞者の表彰。市長から表彰を受ける丸山久美子さんら

森の恵み 感じながら 祭りを楽しみました



会場にこだました萩原御前太鼓「くれない組」の演奏



県健康学習センターの隣にこの日、オープンした「食と健康の家」



約450種の薬用植物を観察できる「薬草の森」もこの日オープン。森林浴を楽しみながら、のんびり散策にぴったり。



式典会場の森でツリークライミングを楽しむ子どもら



萩原御前太鼓「華響」、沖縄民謡エイサーや新曲などを演奏



「子どもたちに緑を残したい」県健康学習センター近くのキュアラの丘で植樹する参加者

がんばれの業
みんなの林

気づこう、行動しよう、森を守ろう

全国植樹祭に訪れた東京の記者が「木を植えるのは大切なことだけど、植える場所はあるの」と地元記者に尋ねました。「安い輸入材が国産材の消費を圧迫。山の管理費用もかかることから、先人が植えた山々から人々が離れていく。切れないから植えられないのが現状だ」と答えました。

このことから、森を守るためには木を植えると同時に木を切ることで、消費することが大切だと叫ばれています。

市内の木材利用の現実を取材しようと、下呂市木工製材協議会会長の倉地貞之さん（製材業）を訪ねました。

倉地さんは、「県内にも山だけで生計を立てている林家があるからそちらを取材したら」と山県市の中原さんを紹介いただきました。

作業道で搬出

コスト削減

「林業も昭和まではバブルだった。その感覚がぬぐいされていない。かつては、木に関われば山林所有者、林業従事者、製材、大工など皆が生活できた。しかし今でも、時代のニーズ、スピードにあわせれば、林業も生業として成り立つ」と中原さんは話します。

「民間企業は、コスト削減に必死。林業はそれに比べたら、削減する余地がまだまだ残されている」と中

原さんは木の生産コストを抑えるため、搬出費用の削減に力を注いでいます。

「林業従事者を作業道から30分以上歩かせない」が作業道づくりのモットー。補助事業を積極的に活用し、現場の間伐材や切削した土砂を使って、作業道の建設をしています。作業道の進路上に樹齢100年を超える大木が支障としてあっても、迂回せず進めています。

中原さんは「目先の利益ではなく、100年先をみた山づくりが大切」といいます。

林業はもうかる。

林業にもコスト意識を。

あせっても年輪は

1年に一つ。



県補助事業を使い完成した作業道



中原丈夫さん（49）山県市在住 中原林業代表取締役

プロフィール

森林所有面積300㍎ 中原家9代目当主。県の林政にも積極的にかわり、山への情熱は並大抵ではない。

山の多面的機能は皆のもの

中原さんは、1㍎あたり3千本の苗木を植え、下刈り、枝打ち、間伐、拓伐、植樹を繰り返す代々伝わる教えに従い山を守ってきました。

85〜95年かけてまっすぐ伸

—まっすぐ伸びるスギの下、草の緑がまぶしい中原さんの山は、手入れの行き届いた山の証。

びた木々は、最後に1ヘクタールあたり6百本になると言います。中原さんの所有する山々は、植えて間もない山から、樹齢100年までの山がバランスよく分布しています。

中原さんは、「地球温暖化抑制の面でも、二酸化炭素をよく吸収する20〜30年生のスギがいつも存在することが重要。植え続け、切り続けていかないと」と言います。

枝打ちや間伐を行う適期を逃しても、手入れを続けることが必要。10年放置したら、山は荒廃してしまいます。

下呂市に見られる混みあつた山には、間伐が必要です。中原さんは、「自然の摂理に従い、枝打ちや間伐の手入れを続ければ、下呂市にもすばらしい山ができる。木の財産的な価値は個人のものかもしませんが、保水機能、浄化作用など山の持つ多面的な機能は、皆のもの。山林所有者には、山を守る責務がある」と話しました。

地元産材の使用に恩恵を。 本物がわかる

消費者の育成を。

「山は安い、山はもうからんと言わないでほしい」と語る下呂市木工製材協議会の倉地さん。その意識が蔓延すると後継者も育たず、山は荒れてしまい日本の山は死んでしまつと警告します。

倉地さんは、その地域で育つた木を使う方が家



県産材の前で、山の影響力を語る倉地貞之さん

のために良いと、県産材を扱っています。山を守っていくためにも、地元産材が積極的に消費されるような、しくみづくりが必要と話します。

かつての林業は、1本の木から柱、板をとり、残りを燃料として薪に使うなど捨てる部分がないくらい上手に森の恵みを活用していました。

林業政策は、我々、林業関係者だけでなく、大地の安全や水質保全、大気の浄化、街並みを含む景観などに広く影響を及ぼします。

「市レベルの話ではないかもしれませんが、山を守っていくには、林業の背景が考えられるような消費者の育成が大切ですね」と倉地さんは話します。

「益田の林業」の復活と

山を愛する子ども育成。

下呂市の林政

岐阜県では、長期展望に立つた総合的・計画的な森林づくりを推進しようと、全国植樹祭開催日の5月21日、「岐阜県森林づくり基本条例」を施行しました。かけがえのない森林財産を次世代へ引き継ぐため行政、森林所有者、森林組合、県民の役割を明確にし、官民一体となつて森づくりを進めようとするものです。

市の面積の92%を森林が占める下呂市。林業から生ずる経済効果は絶大なものがありますが、外国産材の輸入など林業を取り巻く環境の変化から、産業としての林業から、治山治水や環境保護の観点へと、林業政策が転換されてきました。

下呂市では、優良材の産地として名をはせた「益田の林業」の復活を目標に森林行政

を進めなければなりません。林業者、流通、製材、建築などの関係者及び市民により下呂市森林管理委員会を立ち上げ、森林施策に関する意見と提案をいただき、森林資源の有効活用に向けた森林施策を推進します。

具体的には、林道などの林業基盤整備や間伐などの森林資源の造成と観光及び保養資源としての林種転換、製材や建築支援など森林資源の活用に力を入れていきます。

全国植樹祭が開催されたメイン会場「皇樹の杜」では、開催テーマ「ありがとう 未来へつなげ 森のめぐみ」の継続のため、青少年の森林教育の場として、育林作業体験や木工教室などを通して、森林や山の大切さを子どもたちに伝えていきます。

速く、正しく、規律よく

第3回下呂市消防操法大会



6月18日、竹原小グラウンドで第3回下呂市消防操法大会が開催されました。

市内の消防団が一同に統合されて最初となる今大会には、旧町村で組織される各方面隊から計14チームが参加。小型ポンプ操法の部で、日ごろの訓練の成果を発揮し、規律や安全性、迅速性などの操法技術を競い合いました。

競技の結果、小坂方面隊第1分団第1部が優勝。8月6日に土岐市で開催される第55回岐阜県消防操法大会に出場します。

なお、大会の上位の結果は左欄の通りです。(敬称略)

各地域大会の結果

(上位3位まで紹介)

【萩原方面隊】▼ポンプ車

第2分団第2部(上上呂)

第2分団第1部(尾崎3区、野上)

第6分団第1部(上村) ▼小型ポンプ

第6分団第2部(花池、中呂)

第1分団第2部(尾崎1、2区)

第5分団第4部(桜洞)

【小坂方面隊】▼ポンプ車

第3分団第2部(湯屋、大洞)

第2分団第1部(大島)

第2分団第2部(長瀬、坂下) ▼小型ポンプ

第1分団第1部(門坂、岩崎、無数原、大垣内)

第2分団第1部 第3分団第2部

【金山方面隊】▼ポンプ車

第2分団第3部(稲葉町、昭和町、桜町、泉町) ▼小型ポンプ

第4分団第2部(祖師野、戸川)

第2分団第1部(白山町、諏訪町)

第4分団第1部第1班(中原、広瀬)

【馬瀬方面隊】▼ポンプ車

第2分団(中切、堀之内、萩原)

第3分団(名丸、井谷、惣島、西村)

第1分団(川上、黒石、数河) ▼小型ポンプ

第3分団第1分団 第3分団

5部A(小川) 第1分団第2部(湯之島)

第2分団第4部B(御厩野)

小坂、馬瀬は5月28日、その他は6月4日に開催



萩原方面隊の大会



優勝
小坂方面隊第1分団第1部
(門坂、岩崎、無数原、大垣内)
指揮 大森隆史
水野直太 住裕介



準優勝
下呂方面隊第1分団第2部
(湯之島)
指揮 広瀬敬
野村和也 山田慶久
野村敬吾



3位
金山方面隊第4分団第1部
(中原、広瀬、乙原、八坂)
指揮 池戸義和 錦戸豪
井戸折磨 佐々木克哉

8月16日からペンサコーラへ

平成18年度派遣団員決定

青少年の健全な育成と国際的視野を養うことを目的とした平成18年度の国際姉妹都市米国ペンサコーラ派遣団のメンバー17人が決まりました。

派遣団員は市内の中学生を対象に公募され決定。事前研修を重ね、8月16日から25日までの10日間、ホームステイをしながら市内観光やブラウンバージ中学生

の生徒らと交流を深めます。団員は次の皆さんです。

萩原南中 岩垣舞妃子、桂川絵里、小林楓、小林明子、坂尻めぐみ、中川由也、萩原北中 今井麻由子、今井優馬、大坪あかね、金子友紀、島尻優、松井啓太、下呂中 伊藤あかり、今井利佳、牛島修平、野中浩臣、三木美有紀（敬称略）

【市教委・社会教育課】



下呂市地域職業相談室

萩原庁舎に7月31日開設

就職のあつせんや職業相談・紹介の業務を行う「益田職業相談室」の事務所が市役所萩原庁舎内に移転し、名称が「下呂市地域職業相談室」に変わります。

現在7月31日の開設を目指し、庁舎一階玄関右側事務所部分に準備を進めています。

相談室はハローワークと

同等の業務を行い、求職者の雇用機会の向上を図るため、パソコンを活用した求人情報の提供、求職者の雇用相談などを行います。

業務は平日の午前8時30分から午後5時15分まで、相談員は常時勤務しています。気軽にお越しください。

【観光商工部・商工課】



下呂地域職業相談室として市役所萩原庁舎へ移転する益田職業相談室

下呂市連合自治会

会長に説田さん（森）



説田勝人 会長



石丸忠義 副会長

平成18年度の第1回下呂市連合自治会が5月10日、市役所下呂庁舎で開かれ、会長に説田勝人さん（森）が、また副会長には石丸忠義さん（小坂町大垣内）が決まりました。

連合自治会は、旧町村ごとの地域自治会連合会の代表者18人で組織され、行政と地域住民を結ぶパイプ役としてお世話いただきます。各地域自治会の役員の方々は、次のとおりです。

【企画部・総合政策課】

- ▼萩原地域自治会連合会
萩原北部 青木 勉
萩原中部 岡崎 稔
川西北部 内木 晃平
川西南部 島尻 光男
- ▼小坂地域自治会連合会
小坂北 石丸 忠義
小坂中 田中 耕成
小坂東 桂木 寛明
- ▼下呂地域自治会連合会
下呂 説田 勝人
竹原 河原 良昭
- ▼上原 細江 重金
中原 細江 透
- ▼金山地域自治会連合会
金山 星屋 正和
下原 杉原 敏治
菅田 日下部 香
- ▼東 藤村 善吉
- ▼馬瀬地域自治会連合会
馬瀬北部 中田 幸男
馬瀬中部 二村 正美
馬瀬南部 川口昭八郎

（敬称略）

まちのこと 知ろう・学ぼう・考えよう

市職員が出前講座を実施します

開かれた市政と、市民との協働によるまちづくりを推進するため、市職員による「出前講座」を開設します。

この講座は、市民の皆さんの求めに応じて、身近な暮らしに関する分野の現状や各種施策などをお話しするものです。

気軽に申し込めください

提供する出前講座 下記の一覧表の中からご希望のテーマをお選びください。

対象 利用できるのは、市内に在住、在勤、在学する、参加者がおおむね5人以上の会合を対象とします。

会場 開催会場は市内に限ります。会場の確保や準備は、申込者でお願いします。

時間 開催時間は、午前10時～午後9時までの間で、2時間以内とします。

経費 出前講座は無料ですが、資料や材料代等が発生する講座の場合、その費用は申込者の負担となります。

その他 講座修了後、アンケートにご協力ください。

申込 企画部秘書広報課（24・2222）までお問い合わせください。開催希望日の2週間程度前までに申し込みください。その後、詳細について講座の担当課と直接打ち合わせをしていただきます。

開設する講座の一覧

講座名	内容	担当
市政の方針	1 指定管理者制度って何	管財課
	2 南飛騨総合健康アリーナ（仮称）について	まちづくり推進室
	3 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア構想	スポーツ課
	4 よくわかる総合計画	総合政策課
	5 地上デジタル放送とインターネット環境の整備	情報課
	6 待ったなし！行政改革	行政改革推進課
	7 これからの保育園	子育て支援課
	8 美しい景観のまちづくり	建設課
	9 下呂市の住宅施策	建設課
現状と課題	10 市の財政状況	財政課
	11 土地の境界わかっていますか？	用地課
	12 進む少子化社会	総合政策課 / 子育て支援課
	13 安全でおいしい水の供給	水道料金課
	14 快適な生活に下水道	水道料金課
	15 報告！市民の健康実態	健康課
	16 よくわかる介護保険制度	介護保険室
	17 人にやさしいまちづくり	福祉課
	18 介護相談と介護予防	地域包括支援センター
	19 知っていますか？議会の仕組み	議会事務局
普及・啓発	20 たのしく学ぶ「選挙制度」	総務課
	21 旅したいまち「下呂市」	観光課
	22 消費生活講座・あなたも狙われている悪徳商法	商工課
	23 救命救急講座	各消防署
	24 普通救命講習会（3時間コース）	各消防署
	25 防火講座	予防課・各消防署
	26 市民税について知ろう	税務課
	27 ごみの分別とリサイクル	環境課
	28 クリーンセンター見学会	環境課
	29 糖尿病ってなに	健康課
	30 今日からはじめよう健康ダイエット	健康課
	31 あなたは大丈夫？今話題のメタボリックシンドローム	健康課
	32 子どもの病気Q & A	健康課
	33 親子で学ぼう、食育の楽しさ	健康課
	34 健康家族と楽しい食事	健康課

夏のイベント紹介

参加しよう！

出掛けよう！

7月15日・8月20日

ふるさと夏まつり

下呂温泉合掌村。詳しくは
本紙折込チラシをご覧ください。
問 25・22339

7月22日

下呂温泉いでゆ夜市

19時〜22時、下呂温泉街阿
多野谷左岸で。飲食店ほか民
芸品や無農薬野菜などの店舗
が並ぶ。開催日はこのほか7
月29日、8月5日、12日、19
日。8月5日は白鷺橋で歌塚
歌謡祭を同時開催。問 下呂
温泉観光協会 24・10000

7月30日

キャンディライトアップ・四美ナリエ

19時30分〜21時30分、南ひ
だ健康道場で。3500本の
ろうそくに点灯（小雨決行）。
「笑い与健康」をテーマに
フォーラムを同時開催（予約
制）。講師はユーモアコンサ

ルタント矢野宗宏さんほか。

問 55・0010

8月1日〜3日

下呂温泉まつり

1日▼龍神火まつり。5頭の
竜が下呂温泉街を練り歩き、
白鷺橋では爆竹やたいまつ
の火の中を竜が舞い踊ります。
2日▼芸妓みこしパレード。
芸妓みこしを中心に、一般女

性参加の湯の華みこしなどが
温泉街を練り歩きます。

3日▼下呂温泉花火ミュージ
カル夏公演。20時〜21時、下
呂大橋上流で。花火が音楽に
合わせて打ち上がります。

問 24・22222（観光課）

8月7日、8日

ふるさと萩原夏まつり

7日▼萩原商店街での、七夕
祭り、装飾コンクールほか。
19時〜。

8日▼太鼓が積まれたみこし
を先頭に、干支（えと）みこ
しが御前太鼓の演奏を背に商
店街を練り歩く。19時〜。

問 52・20000（萩原・市
民生活課）

8月13日

飛騨金山夏まつり

日中はイコスタDEかなや
ま。夜は音楽祭、花火大会、
大盆踊り大会と催しいっぱ
い。問 32・22001

8月14日

横谷峡滝まつり

11時〜、横谷峡白滝で。自
然と清流に親しむイベント。
魚つかみやミニコンサートな
ど。問 32・22001

8月14日

飛騨小坂力持小太郎火まつり

18時30分〜、小坂振興事務
所周辺で。「力持小太郎伝説」
に由来。裸若衆がみこしを担

いで練り歩くほか、縁起物の
「力布」が観客に投げられる。
問 62・2176

8月15日

山之口川清流大漁祭り

9時〜、山之口川の清流広
場で。山之口川で魚釣りやつ
かみ捕り、宝探し。問 益田川
漁協 52・1035

8月26日

馬瀬川花火大会

20時〜、馬瀬中学校グラウ
ンドを主会場に。一尺玉の炎
の大輪と山々に響く爆音。夏
のファイナルを飾る花火大会。
問 47・21111（馬瀬・市
民生活課）

龍神火まつり



イベント参加は、《地域づくり》参加

ご覧のように、今年も市内各
地域で夏祭りなどのイベントが
開かれます。

こうした催しは、夏のイベン
トとしてだけでなく地域づくり
の原動力にもなっています。し
かし最近、祭りを運営する側
や参加する人員が減少し、その
確保が難しく、運営にも苦慮さ
れているのが現状です。

イベントの企画・運営・協力
を通じて培われた若者の力は、
今後地域や地元企業の活性化の
ために還元されるはずで、事
業主や職場の皆様には、イベン
ト参加へのご理解とご協力をお
願いたします。

また、地域の活性化のため
にも、イベント等には積極的に参
加しましょう。

飛騨小坂力持小太郎火まつり



今年も山梨から うれしいお便り

6月9日、山梨県南アルプス市のサクランボ農家小野勝子さんから金山の東保育園にサクランボが届きました。

約20年前、風船につけて飛ばした園児の手紙が、小野さんの元に届いたのがきっかけ。毎年、もぎたてのサクランボを保育園へ送ってくれています。園児は、園長から説明を聞いた後、真っ赤な実をほおばり「おいしい」、「あまーい」と喜んでいました。



眺めて、触れて、小野さんの優しさが詰まったサクランボをほお張る園児たち

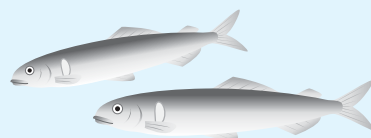


清流の証しといわれる梅花藻が咲き乱れる萩原町野上の黒谷。

you 遊 ほっとピックス

ばいかも
梅花藻に

区民の笑顔満開



萩原町野上の益田川に注ぐ「黒谷」で、バイカモ（梅花藻）が見られ、区民らを楽しませています。バイカモはキンポウゲ科の水中植物。1センチほどの梅に似た花を咲かせます。黒谷のバイカモは、環境の変化で一度は姿を消したものの、付近からの豊かなわき水などから復活しました。初秋まで見られるとのこと。

下呂市の芸術文化 高めたい

市民の芸術意識を高めようと5月28日、下呂観光会館で「第2回下呂市芸能祭・音楽部門」が開かれ、約160人が来場しました。地元出身、在住の音楽家を大切に育てたいと下呂市芸術協会が企画。

箏（こと）とフルートによる「春の海」や特別出演の名古屋音楽大教授の田中省三さんのテノールの独唱などが、聴衆を魅了しました。



フィナーレで声援に応える田中省三さんら出演者

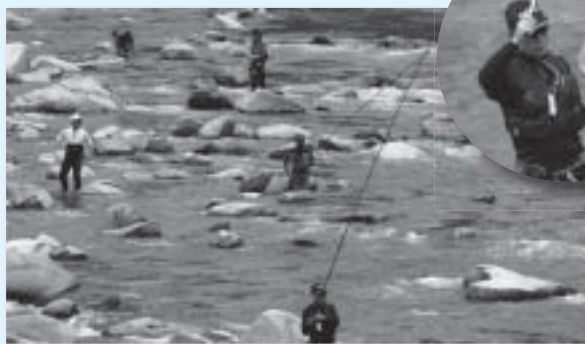


小坂に伝わる子どもの成長を願う歌を歌いながら、
朴葉ずしを食べる参加者

すしもイベントも 手づくり

地域や家庭ごとに特色のある朴葉ずしを通して、郷土の文化に関心を寄せてもらおうと6月2、3日の両日、萩原町上村の小池芳雄さん宅で、「第1回朴葉ずし祭り」(実行委員会主催)が開かれました。市内や名古屋市などから約230人が訪れ、各家庭の朴葉ずしの展示や朴葉ずしの作り方、益田造りの古民家で、益田の文化を堪能しました。

馬瀬川に夏、到来



6月17日、市内の先頭を切って馬瀬川上流で鮎釣りが解禁、待ちかねた釣りファンが初釣りを楽しみました。

なかには、前日から場所取りをするファンもあり、馬瀬川の人気がうかがい知れました。



上原小で 森の大切さ学ぶ



森の働きや自然の大切さを学ぼうと、夏焼の上原小学校の児童たちが6月5日、学校近くの里山で枝打ちや間伐作業などを体験しました。

地元林業関係者でつくる「夏焼愛林会」の会員の指導の下、枝打ちはしごに登り、慣れないのこぎりを使って、一生懸命、枝打ちを行いました。



高瀬さん(左)から指導を受け、ハンダでガラスを固定する田中さん(右)

小坂中2年生、勤労体験

5月30日から6月1日までの3日間、小坂中学校2年生38人が、市内の24事業所で恒例の勤労体験を行いました。

小坂町湯屋でステンドグラスを作る高瀬孝造さんの工房「灯(あか)りや」には、田中涼子さんが弟子入り。デザインからガラス切りや接着までの工程を教わりました。高瀬さんは「ガラスを切るのは難しい。彼女は曲線も正確に切れたので大したもの」と太鼓判を押しました。

図書だより



問い合わせ先 はぎわら図書館 52-4800 小坂図書館 62-3366
下呂市図書室 25-2489 金山図書室 32-2449
馬瀬図書室 47-2111

7月の絵本の読み聞かせ

7月8日(土) 14:00 ~ (星雲会館3階ロビー)
7月22日(土) 10:00 ~ (小坂山村開発センター)
7月22日(土) 14:00 ~ (下呂中央児童館)

主な新着図書

血と聖 イルカ 幸福論 虹の彼方 山姥の夜 町長選挙 大人の友情 眠れぬ真珠 背負い富士 まっすぐに。 水俣病の真実 オーラの条件 この国のけじめ 栄光なき凱旋①② 晩年の美学を求めて ボケない脳をつくる	坂東眞砂子 よしもとばなな 小倉千加子・中村うさぎ 小池真理子 澤田ふじ子 奥田英朗 河合隼雄 石田衣良 山本一力 青木あざみ 矢吹紀人 林真理子 藤原正彦 真保裕一 曾野綾子 篠原菊紀
---	--

やきもの鑑定五十年 中島誠之助
棄霊島(きれいじま)①② 内田康夫
世にも美しい数学入門 藤原正彦・小川洋子
脳が若返るメモする習慣 米山公啓
がんでも私は不思議に元気 絵門ゆう子
浮かれ黄蝶 御宿かわせみ 平岩弓枝
子育てハッピーアドバイス 明橋大二
子どもの成長に飛び級はない 佐々木正美
高野優のコドモ・スクランブル 高野優
私のがんなら、この医者に行く 海老原敏
常識として知っておきたい日本の絵画50 佐藤晃子
ふるしき大研究—エコライフにも役立つ! 宮井KK・監
イギリス人ガーデナーに学ぶ小さな庭づくり
ラッセル・イエッソ
夢のとなりで—新庄剛志と過ごしたアメリカ滞在記
小島克典

他の新着図書は、各図書室の新着リスト
をご覧ください。

今月 の一冊



『妻に先立たれる前に
—カゲキ新生活読本—』

志茂田景樹 著

これからの時代の中老年夫婦の価値ある過ごし方ヒント集。料理、掃除、洗濯、運動、ひとり旅・・・と7つの楽しみを提案している。直木賞作家でタレント、全国で読み聞かせ公演をしている著者の好きな言葉は「いまが出発点」「ゆっくりと、かしくなろう」。団塊世代はもちろん、30代・40代にも既婚未婚を問わず、世のオトコたちすべてにお勧めの1冊。

悪質訪問販売に注意!

今年6月1日から、新築住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されました。既存住宅は平成23年5月31日までに設置が必要です。これに便乗する悪質訪問販売にご注意ください。

2あひ
119
ばん

下呂市消防本部
TEL25-5119



住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、悪質訪問販売の被害が予想されます。販売手口は、次のようなものがあります。

【事例一】

一般住宅に男2人が、「法律が変わり、一般家庭に住宅用火災警報器を設置する義務があるので、今なら定価2万5千円を2万円にする」と言って、直径約10cmの機器を提示した。「価格が高いのでいい」と購入しなかった。氏名、会社名をはっきり言わず帰っていった。

【事例二】

一般住宅に、「一般家庭に住宅用火災警報器を設置する義務がある。他のところではすでに設置しました」と言って家に入り、台所の天井に機器を設置した。2万円を支払ったところ、「領収書を持てきます」と行ったきり戻ってこなかった。

悪質訪問販売の被害防止のため、次のことに
注意しましょう。

- 一、既存住宅については、平成23年5月31日までに設置となります。
- 二、住宅用火災警報器は、家電販売店等で購入できます。
- 三、住宅用火災警報器の訪問販売は、クーリングオフ制度の対象であり、契約後一定期間は契約の解除ができます。
- 四、悪質訪問販売とまぎらわしい事例に遭遇した場合は、最寄りの振興事務所または消防署に相談してください。

この人



たかはし えつこ
高橋 恵津子さん

(湯之島)

市内各地域の更生保護女性会をまとめる、「下呂市更生保護女性会」の会長を務めています。

更生保護女性会とは、女性としての立場から、地域の犯罪予防と犯罪や非行をした人の更生支援活動を行い、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的とするボランティア団体です。下呂市では、合併以前に旧町村でそれぞれの会が活動を行っていました。合併に合わせて「下呂市更生保護女性会」が結成されました。

11年前の平成7年から、更生保護女性会の活動に加わった高橋さん。毎年7月の「社会を明るくする運動」強調月間にあわせて、下呂地域の各小学校で他の会員の方とともに啓発活動を行ってきました。本来この運動は、戦後の荒廃した社会の中で、犯罪のない明るい社会づくりを目的に進められてきていたものなのですが、社会の情勢は日に日に変化しています。「更生保護女性会として、何か今の社会の役に立てることがあれば」と高橋さん。青少年によ

る凶悪事件や、子どもが被害に遭う事件が起きている中で、「地域づくりの活動にも、更生保護女性会の立場からかわっていったら」と話します。

「犯罪や非行のない明るい社会づくりは、だれもが願っていること。《更生保護》という言葉にこだわらず、地域の方一人ひとりが意識を持つてもらえたらうれしい」と。賛同してくれる仲間が増えてくれることが、活動の中の大きな喜びだそうです。

ふれあいと
対話が築く
明るい社会

7月
は
「社会を明るくする運動」
強調月間です。

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうする全国的な運動です。

山の仲間

五の池小屋だより

5月下旬、小屋開けの日。山の仲間や毎年小屋に訪れてくれる常連のお客さんが集まった。登ってくることさえためらう残雪の時期に、わざわざ自分の仕事を休み、ここ御嶽五の池小屋に集まってくれたのだ。そのうえ、小屋開け作業は大変な力作業だというのに。雨戸外し、雪につぶされないようにしていた補強の柱の撤去、畳敷き、雪かき、やらなきゃならないことは山ほどある。

つにも体調を崩して、あまり思うように体が動かなかった。しかし、仲間はそれを感じてくれていたのが、本当にがんばってくれた。

翌日、真っ青な空に、今年最初の荷物がヘリコプターで運ばれてきた。食料や資材などを小屋に運び入れ、半年ぶりに小屋は息を吹き返した。みんな笑顔だ。これでやっと登山者を迎えることができる。

山小屋は自分だけでやっている訳ではない。みんなに支えられている。僕は営業開始の喜びと、山の仲間への感謝の気持ちでいっぱいであった。

(写真・文市川典司)



御嶽五の池小屋： 090-3581-4985 <http://www.gonoike.com>

暮らしの情報あれこれ



県民の安全と暮らしを守る警察官を募集

岐阜県警察では次のとおり警察官採用試験を行うほか、警察事務職員も募集します。

○警察官A（大卒）

受験資格 昭和50年4月2日～昭和60年4月1日までに生まれた方

受付期間 8月4日～22日

一次試験日 9月17日

試験会場 岐阜市

○警察官B（大卒以外）

受験資格 昭和50年4月2日～平成元年4月1日までに生まれた方

受付期間 8月4日～22日

一次試験日 9月17日

試験会場 岐阜市、多治見市、高山市

○警察事務職員（短大・高卒程度）

受付期間 8月11日～29日

一次試験日 9月24日

問合先 岐阜県警察本部警務部警務課

0120・272・052

下呂温泉まつり湯の華みこし日帰り参加者大募集

下呂温泉まつりの2日目「芸妓（げいぎ）みこしパレード」で、芸妓さんをはじめさまざまなみこしやサンパ隊が下呂温泉街を練り歩きます。一般女性に参加する「湯の華みこし」でみこしを担いでみませんか。費用は無料です。



なお、宿泊込みの参加は6月末で応募を締め切りました。また、パレードで芸妓さんや一般女性が着る法被のデザイン審査が6月8日に行われ、東海林和子さん（横浜市戸塚区）の作品（左上）が選ばれています。

問合先 観光課（湯の華みこし日帰り参加募集係）

24・2222

航空学生ほか自衛官等を募集

次のとおり自衛官等を募集します。試験期日等は種目によって異なりますのでお問い合わせください。

募集種目 航空学生（高卒、21歳未満）、一般曹候補学生（18歳以上24歳未満）、曹候補士（18歳以上27歳未満）、2等陸・海・空士（18歳以上27歳未満）、予備自衛官補（18歳以上34歳未満）

募集期間 8月1日～9月8日。ただし男子の2等陸・海・空士は年間を通じて募集。予備自衛官補は7月18日～10月13日。

申込・問合先 自衛隊岐阜地方連絡部高山出張所

0577・32・3028

平成19年度採用下呂市職員募集

職種とその要件等

○一般行政職（若干名）

高等学校卒業以上の学歴を有する方、または平成19年3月末までに卒業見込みの方

○消防職員（若干名）

高等学校卒業以上の学歴を有する方、または平成19年3月末までに卒業見込みの方（救急救命士の資格を有する方、または平成19年3月末まで資格を取得見込みの方は、申込書の資格・免許欄等に記入のこと）

各職種とも、身体障がい者を含みますが、応募要件等詳しくはお問い合わせ下さい。

年齢要件

昭和51年4月2日～平成元年4月1日までに生まれた方。ただし地方公務員法第16条に該当する方は受験資格がありません。

試験の方法

○1次試験

内容・一般教養と適性検査

期日・9月17日（日）

会場・高山市県立飛騨高山高校（岡本校舎）

○2次試験（1次試験の合格者）

内容・面接、論文試験、体力検査（消防職のみ）

期日・10月中下旬予定

申込方法

下呂市職員採用試験申込書により、成績証明書（最終学歴のもの）と受験票を添付の上お申し込みください。申込書、受験票は市役所人事課、各振興事務所にあります。

受付期間と提出方法

7月3日～7月31日まで。持参する場合は下呂市役所下呂庁舎・人事課へ（ただし土曜・日曜・祝日を除きます）。郵送の場合は31日消印有効。

申込・問合先

〒509・2295

下呂市役所 人事課

24・2222

（内線220・222）



7月1日(土)
下呂温泉合掌村しらさぎ
座7月公演「司大樹一
座」10時～、14時～の
2回公演。7月30日まで。
☎ 25-2239

7月8日(土)
鑑賞会「ハナさんのお
きやくさま」14時～、
星雲会館で。会員対象
ですが当日入会可(年
少児以上1人1月800
円)。☎ 益田子ども劇場
090-7313-0383(熊崎)

7月8日(土)
「清流セラピーコンサ
ート」16時開場、馬瀬・
水辺の館で。子ども馬瀬
川太鼓の演奏など。入場
無料。☎ 47-2841

7月10日(月)
朗読会「声のドラマ in
小坂」13時30分～、小
坂健康ふれあいセンター
で。美濃加茂朗読の会・
森優美子さんの朗読ほ
か。☎ 北條 62-2425

7月15日(土)
コンサート「慈雲寺物
語」18時～、萩原町山之
口の慈雲寺で。土着民、
Goo 連帯、茶木みやこ、
沈兵らが出演。入場料
2,000 円、中学生以下無
料。☎ 慈雲寺 54-1655

7月29日(土)
「2006 岩屋ダム水まつ
り」10時～、岩屋ダム
堤体で。湖上探検パト
ロール、輪投げ大会、金
魚すくいなどの無料のイ
ベント。☎ 岩屋ダム管理
所 35-2339

8月5日(土)
「2006 愛の料理対決 in
馬瀬」11時～、馬瀬・
水辺の館で。独身の男
女を対象にした出会い
イベント。参加費男性
2,000 円、女性 1,000 円。
7月10日までに申込を。
☎ 下呂コミュニティ
52-2022

**市営住宅の
入居者を募集**
○ 公営住宅惣島団地1号
馬瀬惣島202番地1
木造平屋建(平成元年度建
設)、3DK、住宅使用料・

**ブナシメジと飛騨牛で
ビールに合う料理を**
地産地消の推進と特産のブ
ナシメジの消費拡大を図るた
め、市ではブナシメジと飛騨
牛を使用した「ビールに合う」
料理(2人前材料代1000
円を超えない範囲)について、
コンテストを行います。

農林部 地産地消係
52・2000
Eメール info-kankou@city.
gero.lg.jp
申込・問合せ先
〒509・2595
協賛 キリンビール(株)

**健康を考える企画展
「健康展まめなかな？」**
「健康」をテーマに、さまざ
まな分野から収集した資料と
学術的な観点から、わたした
ちのくらしと健康維持につい
て考える企画展です。

会場 岐阜県ミュージアムひ
だ(高山市千島町、飛騨・世
界生活文化センター内)
料金 一般600円、高校生
以下無料、団体料金あり
問合せ ミュージアムひだ
0577・376161

児童に温かい家庭の雰囲気
を体験させるため、県の委託
を受けて岐阜県里親連合会が
行います。
委託期間 8月5日～7日
申込先 福祉課
52・3936

12600円～20900円
○ 公営住宅住吉住宅3号
少ヶ野313番地1
簡易耐火構造2階建(昭和48
年度建設)、2K、住宅使用料・
10500円、17300円
入居資格 税金の滞納がない
こと。住宅に困っていること。
月額所得についての資格も
ありますのでお問い合わせく
ださい。
申込期限 7月21日
問合せ 建設課
52・2000

日時 8月27日11時30分
場所 星雲会館
内容 審査で選出された10名
の料理を会場で実食
注意事項 食材、食器、調理
器具、交通費は各自負担(ガ
ス、水道設備は提供)
審査 書類審査の上、10名を
選出。参加希望の方は、献立
表に写真を添付のうえ8月15
日までに郵送またはEメール
で応募下さい。ただし応募者
は県内在住の方に限ります。

もよおし
健康展まめなかな？
「健康」をテーマに、さまざま
な分野から収集した資料と
学術的な観点から、わたした
ちのくらしと健康維持につい
て考える企画展です。

会期 7月15日～8月27日
* 休館 7月18日、24日、31
日、8月21日
時間 9時～17時
会場 岐阜県ミュージアムひ
だ(高山市千島町、飛騨・世
界生活文化センター内)
料金 一般600円、高校生
以下無料、団体料金あり
問合せ ミュージアムひだ
0577・376161

三日月里親を募集
温かい家庭の雰囲気
三日月里親とは、県内の児童
養護施設に生活している子ど
もたちの中で、夏期などの帰
省時に、帰れる家庭のない児
童や家庭の事情で帰省できな
い児童を、民間篤志家に3日
間預かっていただく事業で
す。

児童に温かい家庭の雰囲気
を体験させるため、県の委託
を受けて岐阜県里親連合会が
行います。
委託期間 8月5日～7日
申込先 福祉課
52・3936

日時 8月27日11時30分
場所 星雲会館
内容 審査で選出された10名
の料理を会場で実食
注意事項 食材、食器、調理
器具、交通費は各自負担(ガ
ス、水道設備は提供)
審査 書類審査の上、10名を
選出。参加希望の方は、献立
表に写真を添付のうえ8月15
日までに郵送またはEメール
で応募下さい。ただし応募者
は県内在住の方に限ります。

**御嶽少年自然の家
イベント案内**
小学生以上の子とその家族、または一般の2
人以上のグループで。イベント名、郵便番号・
住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、はがき、
FAX、またはEメールでお申し込みください。

■ 沢歩き探検と木ぼっくり作り
日時: 8月26日(土) 27日(日)
申込期間: 7月24日～8月11日
参加費: 2,500 円(1泊3食、材料代別)
日本一の溶岩流跡を
流れる変化に富んだ
溪流で沢歩き探検に
挑戦。自然の素材を
いかした木ぼっくり
作りも楽しい。
〒509-3111 小坂町落合「御嶽少年自然の家」
FAX 62-3659 Eメール c27216@pref.gifu.lg.jp
ホームページ http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/
s27216/index.htm





プール熱に
ご注意ください！

乳幼児を中心に感染する咽頭結膜熱（プール熱）の患者が、今年は過去10年で最多のペースで発生しており、夏にかけて大流行する恐れがあります。

咽頭結膜熱は発熱（38～40℃）喉の激しい痛み、充血など眼の症状が主な、ウイルス性感染症です。プールでの感染も多いことから「プール熱」とも呼ばれています。せきやくしゃみのほか、タオルやドアの取っ手、水道の蛇

■ 今月の市税 ■

固定資産税第2期分

国民健康保険税7月分

●納期限は7月31日です。

下呂市と岐阜県は、県税・市税の徴収強化策として、共同徴収を連携して実施していきます。

口などを介して感染します。
▼予防するには
感染者との濃厚な接触を避ける。

流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを。
プールからあがったときは、シャワーを浴び、目をしっ
かり洗い、うがいを。
タオルなどは共用しない。
問合先 健康課
52・3936

雨の続く季節
土砂災害に注意を

今年5月に揖斐川町で大規模な地滑りが発生するなど、土砂災害による被害が日本各地で起きています。

雨に注意しましょう
土砂災害の多くは雨が原因。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。
逃げ方を覚えましょう
土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。
避難場所を決めておきましょう

夏の交通安全県民運動
7月11日～20日

夏休みを前に、暑さによる疲労や行楽地へのレジャー等による交通事故の多発が予想されます。また、4月以降、特に高齢者が関係する交通事故が増加しています。
「自分の安全は、まず自分で守る」という意識を持ち、交通ルールの順守と正しい交通マナーを実践し、交通事故を防止しましょう。

日ごろから家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。
問合先
総務課 24・2222
建設課 52・2000

10月から障がい福祉サービスの仕組みが変わります

障害者自立支援法の施行により、障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して、障がいの種類（身体障がい・知的障がい・精神障がい）にかかわらず自立支援を目的とした福祉サービスが提供されます。
また、支援の必要性について統一した判定基準を導入

し、支給決定のプロセスを明確にするとともに、利用者負担の見直しが行われました。サービスの手続き
相談・申込（市町村）↓利用申請↓心身の状況調査↓障がい程度の1次判定（市町村）↓障がい程度の2次判定（審査会）↓支給決定

心身の状況調査は、市の認定した調査員が伺います。
利用者費用負担の見直し（平成18年4月から施行）
○福祉サービス・医療制度を利用した方は、サービス量や所得に応じた、原則1割の定率負担になります（所得に応じた月額上限額が設定されます）。
○施設などを利用する際の食費や光熱水費が自己負担となります。（障がい児については10月から）
○自己負担額については所得による月額上限額のほか、各種の負担軽減措置があります。

この制度は、利用量や所得に応じた公平な負担により、安定的な財源を確保するものです。
問合先 福祉課
52・3936

金山町子育て支援拠点施設「ひなたぼっこ」からのお知らせ
通常開館日 月～金
10時～12時 祝日は休み

七夕飾り作り

6月26日～7月6日（木）
10時30分

七夕会

7月7日（金） 10時30分
読み聞かせや歌で楽しみます。

水遊び

7月11日（火）より

問合先 金山町子育てサポート、ほほえみ家族
090・2681・8290（亀山）

お知らせ▼このたび、下呂地区にもサポート会員が誕生しました。これを機会に広く全市から会員の募集を行います。左記までご連絡ください。
090・2346・2422（細江）

おひさまはつす 7月開館日
開館時間 10時～11時30分

日にち	会場
3日（月）	健康館
12日（水）	いきいきセンター
14日（金）	東公民館
26日（水）	いきいきセンター
28日（金）	東公民館

3日は「親子で遊ぼう」古田嘉穂さんによる「英語で遊ぼう」を予定。
子育て支援課 52・2900



7月の 市民サロン (市長に会える日)

20日(木)9時～
馬瀬振興事務所
20日(木)13時30分～
金山振興事務所
26日(水)9時～
萩原振興事務所
26日(水)13時30分～
小坂振興事務所
市長と面談されたい方は、各振興事務所市民生活課まで申込を。

編集室から

今月から広報担当者の声をお届けする「編集室から」を設けました。取材で感じたこと、紙面づくりの裏話、皆さんに伝えたいことなど担当者が交代で紹介します。

取材を通して改めて下呂市は広いと感じます。その広い下呂市に住む皆さんをつなぐのが広報紙だと思います。遠くても近いと感じてもらえるよう、目や耳を市民の皆さんや地域に向け、市の動きや地域の情報をお届けしたいと思います。

全国植樹祭。子どもたちの言葉「森は僕たちが守っていかなければならない。木を植えるだけじゃだめなんだ」の言葉は印象に残りました。会場は「皇樹の杜」として子どもたちの教育の場として生かされます。(マ)

下呂市役所	
下呂庁舎	24-2222
萩原庁舎	52-2000
小坂振興事務所	62-3111
金山振興事務所	32-2201
馬瀬振興事務所	47-2111
下呂市教育委員会	
(星雲会館内)	52-2900
下呂市消防本部	25-5119
クリーンセンター	26-3397

気象警報の発令に伴う 無線放送について

気象庁から、飛騨南部に大雨、洪水、暴風などの気象警報が発令された場合、午前6時から午後10時までの間については、発令または解除にあわせて随時同報無線で放送しています。

ただし、午後10時以降に警報が発令され、翌朝まで継続している場合は、翌日の午前6時ごろに無線放送を行います。小中学校の児童生徒に対する、登校や自宅待機の指示もそこであわせてお知らせします。ご了承ください。



問合先
総務課 24・2222
消防本部通信司令室
25・5119

おしらせ



「御嶽」「清流」マラソン 大会開催日について

昨年まで下呂市では、御嶽マラソンと清流マラソンの2大会が10月に開催されていました。同時期の2大会開催は、効果や運営の面から考えても不利な点が多いため、両大会の個性をいかしながら集客力をアップしようとして、開催日等、大会内容を変更しました。

大会の概要は次のとおりとなっています。皆様のご理解とご協力、ご参加をお願いいたします。

○第42回御嶽マラソン大会
日時 10月8日(日)
場所 小坂振興事務所(御嶽)
内容 フルマラソン、15キロ

申込受付 8月より

○第31回ひだ金山清流マラソン大会
日時 平成19年3月18日(日)
場所 金山リバーサイドスタジアム

内容 ハーフコース、5キロ、2キロ(今大会より30キロロードレースを廃止)
申込受付 平成19年1月中旬ごろより

問合先 スポーツ課
52・2900

盗難に遭った円空仏の 情報を求めています

小坂郷土館に展示されていた円空仏が、平成16年4月盗難に遭いました。警察に盗難届けを出しておりますが、未だ発見されていません。どんな小さな情報でも結構ですので情報提供をお願いします。被害に遭った仏像は次の3

体です。

○菩薩(ぼさつ)像2体(高さ36・5センチ、34センチ)

○薬師如来像1体の左右に菩薩像2体が並んで1対となっていたもののうち、左右の菩薩像2体が盗まれました。この円空仏は、神社の祭礼で信仰の対象となっています。像の裏に墨で書かれた文字があるもので、地元では大切にされています。

【所有者】松尾八幡神社(小坂町門坂)
○月光菩薩1体(高さ44センチ)

この円空仏は、湯屋薬師堂に祭られ信仰の対象となっています。盗難は地域の方に大きな衝撃を与えています。【所有者】湯屋薬師堂(小坂町湯屋)

連絡先 小坂教育室
62・3366
FAX 62・3595

職員の異動

○6月1日付

白草保育園 今井亜里

(萩原南保育園)

小坂保育園 中島いつみ

(萩原北保育園)

【採用】

○6月1日付

金山病院医師 天岡望

○7月1日付

金山病院放射線技師 大槻かおり

同看護師 安江貴志子

【退職】

○5月31日付

桑原生委(金山病院医師)

大江代志美(小坂診療所看護師)

○6月30日付

小池清和(消防本部消防総務課)



こんにちは

市長です

市長 山田良司

全国植樹祭と子どもたち

あらためて「第57回全国植樹祭」の成功に対し、市民の皆さまお一人おひとりに感謝を申し上げたいと思います。とりわけ、今回の植樹祭は、子どもが主役であり、式典やボランティアを通じて大活躍した多くの子どもたちの姿が人々の心に感動を与えました。

私は、全国植樹祭の成功を振り返った時、下呂市にとって三つの意味で重要であったといういろいろな場で話をさせていただいています。

一つは、下呂市というものを内外に大きくPRできたということ。二つ目は、この成功により合併後、日が浅い市民の心の中に、市民としての一体感が醸

成されたということ。そして三つ目は、準備から本番に至る市民の自発的な盛り上がりは、下呂市が目指す「協働」の理念をまさに体現するものであるということです。三つの成果は、今も間違いのないと思います。

しかし、長い目で見たとき、本当の意味で良かったことは、下呂市の子どもたちが、これほどの国家行事をまさに「主役」として、直接的、間接的に経験できたことではないでしょうか。

今回の経験の意義は、子どもたちが成長することに、年を追うごとに実感として深まってくはすです。そしてその実感は、子どもたち一人ひとりの自信と誇りにつながり、無形の財産となつて生涯、心の中に生き続けることでしよう。

将来の下呂市を背負うのは、今の子どもたちです。子どもたちがいかに健全かが、将来の下呂市を占うバロメーターです。そういつた意味で今回の全国植樹祭の成功は、下呂市の将来にとって大変意義深いものがあつ

たと思います。

その意味からも、この国家行事を一過性的なお祭りで終わらせることなく、未来永劫（えいごう）この日を忘れず、下呂市の森林施策に反映させることはもちろんのこと、下呂市の宝である子どもたちの教育と健全育成のために生かしていかなければいけないと思います。



下呂市
防災訓練

9月3日(日)
実施



いきいき青空市開催

新鮮な農産物が並べられます。

市役所萩原庁舎前

7月14日～10月末の毎週金曜日

午後3時～5時

湯之島「ワイワイ広場」

7月18日～10月末の毎週火曜日

午前10時～12時

問）農林部地産地消係 52-2000

わたしたちのまちづくり

子育て支援編



中原公民館ホールで、託児を行うカンガルーの会（写真：5月撮影）



地域の輪の中で育てられる子どもたち。



顔なじみの人ばかり。地域の利点を生かして託児。



「いい子にしてた？」地域のおばあちゃんからお母さんの手へ。



年間行事を確認しあった母親らの学習会。学習会に集中し熱心に意見を交換する母親たち。

地域で子育て支援・託児ボランティア

カンガルーの会

「美容院へ行きたい」、「幼児学級で講師の話に集中したいけど子守りを頼める人がいない」そんな母親たちの声に応え平成13年4月、中原地域の主婦たちが、子育て支援グループ「カンガルーの会」を立ち上げました。

現在、60歳代から70歳代の主婦8人が会員として、託児ボランティアに活躍中です。

中原地域には、乳幼児から小学生までの親が子育てを学ぶ機会を作り、月1回、学習会を開いて子どもの栄養管理、生育を学んでいます。

カンガルーの会の主な活動は、この学習会の開催時に、乳幼児を預かり、母親らが集中して学べる環境づくりをサポートすること。会場となる中原公民館の一室で、備え付けや持ち寄ったおもちゃを使って、子どもたちを遊ばせています。

このほか、「歯医者へ行きたい」など個人的な要望にも応え、電話代50円で子どもを預かります。（公民館などを使う場合は依頼主が会場使用料を負担）

世話人の熊崎敬子さんは「この会に参加して若い人の気持ちが以前よりわかるようになりました。嫁さんも外へ出て、多くを学んだらいいと思う」。代表の細江多栄子さんは「後継者づくりが課題ですが、若い人や子どもたちとのコミュニケーションがとれて楽しくやっています。地域の輪が広がった気がします。預かった子が、買い物先で声をかけてくれるのが何よりうれしい」と話します。

カンガルーの会は、母親たちと一心同体。若い母親らの“がんばり”をおばあちゃんたちの“やさしさ”が支えています。地域で子どもを育てるお手本をみつけました。

【問合先 細江 28-2863】